

## 産業・経済分科会 審議結果報告書（案）

宇都宮市総合計画審議会

会長 上 西 朗 夫 様

宇都宮市総合計画審議会

産業・経済分科会

会長 築 郁夫

第5次宇都宮市総合計画における分野別計画の策定にあたり、当分科会の所掌する分野について、審議を行った結果を次のとおり報告いたします。

### 1 基本施策「地域産業の創造性・発展性を高める」について

#### ◆企業誘致について

- ・ 戦略性を標榜する総合計画において、基本施策「地域産業の創造性・発展性を高める」を掲げ、そのトップに、戦略中の戦略である企業誘致「地域特性を活かした産業集積の促進」を打ち出したことは評価できる。  
ただし、これらを何が何でも実現するという気迫が感じられる指標の設定など、計画の内容や表現にするべきである。
- ・ 企業誘致は、人材誘致でもある。そのためには医療や教育、商業、住宅など、都市の総合力の充実が必要であるとともに、都市のPRも必要である。本市に関する対外的な情報発信を効果的に行っていくことが肝要であり、宇都宮市のブランド化を目指すべきである。

#### ◆産学官連携、新規開業・新事業創出について

- ・ 産学官の連携強化や、新規開業・新事業の創出により、一つでも多くの“オンリーワン”企業、事業者や農業者を育てるべきである。そのためには、意欲と将来性にあふれ、自ら努力する者に対し支援していくとの信念のもと、計画に明示することが必要である。
- ・ 産学官の連携強化や、新規開業・新事業の創出においては、ネットワークを形成・誘導し、事業ノウハウや技術を提供する「コーディネーター」などの“人材”と、それを集める核となる「目利き」としての人材が大きなカギを握っている。そのような人材の発掘と、その能力の最大限の発揮により、行政が目指すべき成果に繋げる事が出来るような組織の在り方を検討することが必要である。

#### ◆農工商が融合した高付加価値農業の実現について

- ・ 農業振興にあたっては、産学官連携をはじめ、総合的なネットワークの中で、新

商品開発，地域ブランド創出，生産・流通・消費の連携などによる，商品づくり，価値観づくりへの取組，いわゆる6次産業化が重要である。

## 2 基本施策「商工業の活力を高める」について

- ・ 商工業の産業経済活動においても，環境問題への対応を取り上げていくべきである。特に，工業団地における「ごみゼロ」運動などは，有効な取組であるから，本市においても，計画において意思表示をしていくことが必要である。
- ・ 中心商店街のみで活性化の考察を行ったり，周辺部の商店街や商業地のあり方だけクローズアップするのではなく，それぞれの機能や役割を総合的に考察することこそ，均衡ある発展に繋がるものであるから，計画においては，そうした総合的な考察のもとに，商業に関する施策・事業を構築する必要がある。
- ・ 中小企業の活性化，地場産業の育成にあたっては，企業・事業者のニーズや，特性，長所を捉え，それらを効果的に支援，育成していく，地道ながらも着実な取組が，重要である。
- ・ 商店街が，活性化や業績向上に向けた意識改革のもと，自ら発意し，自立して活動していけるよう，商店街が連携し協議する「“機会”と“場”の創出」や，商店街が行う共同事業に関しての「ノウハウの提供」などの行政支援が重要である。

## 3 基本施策「農林業の付加価値を高める」について

- ・ CO<sub>2</sub>問題などの環境問題への対応策を，バイオマス，バイオエネルギーなどに関連し，農業分野での施策・事業として検討し，計画において掲げていくことが必要である。
- ・ 農業政策については，本市独自の担い手確保・育成策や，生産振興策を打ち出していくとともに，地産地消や，産地力の向上を進めていくためにも，消費者に信頼される農産物の供給や，直売所の整備等の販路拡大に取り組んでいくことを，計画に掲げることが必要である。

## 4 基本施策「魅力ある観光と交流を創出する」について

- ・ オリオンスクエアや，うつのみや表参道スクエア，宇都宮城址公園，中心商店街等を擁する中央地域や，飛山城史跡公園や清原運動公園を擁する東部地域，大谷をはじめとした北西部地域など，本市には様々な観光資源があるものの，中央地域での駐車場確保や自動車アクセス，本市各方面への公共交通アクセスや，大谷地域の安全対策など，観光振興の基盤となる“観光インフラ”の整備未了が課題である。計画においても，それら課題への対応を示していく必要がある。
- ・ 本市が抱かれた肥沃な自然の恩恵である，おいしい水や豊かな緑，大谷石などの活用や，本市がこれまでに育み築き上げてきた歴史と，宇都宮城址公園，オリオン

スクエア，うつのみや表参道スクエアの連携による魅力創出などについて，計画において掲げ，PRしていくことが必要である。

## 5 産業・経済分野全般にわたることについて

- ・ 宇都宮市全体の中で，経済の生産性や効率性を上げていく必要がある。例えば，土地の効率的利用や，本市就労者の効率的な労働環境づくりなど，農業，商業，工業それぞれの産業生産性の向上を目指すとともに，市全体の生産性を総合的に向上させるための施策を考えるべきである。そうして，自立的発展が見える（持続可能性のある）本市産業・経済の確立を計るべきである。
- ・ 宇都宮市独自の事業展開に止まらず，近隣市町村と連携しての産業開発事業，産業振興も重要である。
- ・ 基本施策2「商工業の活力を高める」，基本施策3「農林業の付加価値を高める」においても触れたが，これからの産業経済活動は，環境保護の視点なしには成立し得ず，計画においても産業振興政策と環境保護政策の連携と一貫性が重要であるから，その取扱について十分な検討が必要である。